

月曜〇〇講座【第9回】

# レポートを書く前に： 色々なレポート本の紹介

平成28年6月6日（月）

上越教育大学附属図書館

# 戸田山 和久 (2012)

## 『新版 論文の教室：レポートから卒論まで』

### NHK出版

【内容】

作文ヘタオくんが作成した「駄目レポート」を，センセイとの対話をとおして，合格できるレポートへ修正していく話。

【評】

軽妙な語り口で読みやすい。しかも，やる気が出る。「巻末豪華五大付録」を読むだけでも，良いレポートが書けるかも。

# 木下 是雄（1994）

## 『レポートの組み立て方』ちくま学芸文庫

### 【内容】

レポートをどうやって書いたら良いのか？を1から10まで説明。  
人文・社会科学系の学生と若い社会人向けに書かれた本。  
理科系の人向けには姉妹本の

**木下 是雄（1981）『理科系の作文技術』中公新書**もある。

### 【評】

「2 事実と意見の区別（pp.25-48）」と「4.5 パラグラフー説明・論述文の構成単位（pp.180-192）」は参考になる。

# 倉島 保美 (2012)

## 『論理が伝わる世界標準の「書く技術」：「パラグラフ・ライティング」入門』講談社ブルーバックス

### 【内容】

パラグラフ・ライティング（1段落に1トピック＋論理的につないでいく書き方）とは何か？を実例を交えながら説明。

### 【評】

ビジネスマン向けに書かれていますが，学生さんにもオススメ。レポートを作成する際も「パラグラフ・ライティング」を心がけることでわかりやすい文章が書けるかも。

# 酒井 聡樹（2007）

## 『これからレポート・卒論を書く若者のために』 共立出版

### 【内容】

レポートの始めから終わりまでを、くまなく解説。修士論文を書くには姉妹本の**酒井 聡樹（2015）『これから論文を書く若者のために』共立出版**もある。

### 【評】

例に「ベガルタ仙台」が多く出てくる。サッカー愛が伝わってきます。「第3部 日本語の文章技術（pp.165-224）」を読むと、わかりやすい文章が書けるかも。

# 小笠原喜康（2009）

## 『新版 大学生のためのレポート・論文術』

### 講談社現代新書

【内容】

レポート・論文作成のマニュアル本。一連の流れを手短に紹介している。

【評】

レポートの基本的ルールが分からない学生にオススメ。  
「6.3.分かってもらえるレポート・論文の三つの条件（pp.205-216）」は読んでおいて損はしない。コラムが面白い。

**河野 哲也（2002）**

**『第3版 レポート・論文の書き方入門』**

**慶應義塾大学出版会**

**【内容】**

レポート・論文作成のマニュアル本。レポートの「基本的な要件と形式」を重視している。「テキスト批評」という方法も紹介。

**【評】**

図書や論文を読んでレポートを書くときは「テキスト批評という練習法（pp.13-29）」に挑戦。

# 大出 敦（2015）

## 『クリティカル・リーディング入門：人文系のための 読書レッスン』慶應義塾大学出版会

### 【内容】

テキスト（図書や論文）をどう読むのか？を具体例を挙げながら詳しく説明しています。

### 【評】

テキストを読み，疑い，問いを立てる方法が分かります。  
レポートのテーマが決まらない方にオススメ。

**井下 千以子（2014）**

**『第2版 思考を鍛えるレポート・論文作成法』**

**慶應義塾大学出版会**

**【内容】**

「書く力」と「考える力」を鍛えることを目的にして解説。

5つのステップを行きつ戻りつすることで、レポートを完成させます。

**【評】**

図解が多く分かりやすい。「定型表現を用いた論証型レポートのフォーマット（pp.50-51）」を活用すれば、論理的にレポートを書けるようになるかも。

# 慶應義塾大学日吉キャンパス学習相談員（2014） 『学生による学生のためのダメレポート脱出法』 慶應義塾大学出版会

## 【内容】

学生目線でレポート作成をサポート。大学生活を楽しもうとしている学生のために書かれています。

## 【評】

忙しい学生さんには「第2章 提出まで時間が無い！最低限やるべきことは？（pp.24-44）」がオススメ。

## □おわりに

レポート本を読むと、「良いレポート」が書けるような気になります。

しかし、実際に書いてみるとそんなに上手くはいきません。

そこで、**書いて、直して、また書いて、**  
**少しずつ上手くなりましょう。**

ご静聴，ありがとうございました。

[連絡先]

上越教育大学附属図書館

Mail : [gservice@juen.ac.jp](mailto:gservice@juen.ac.jp)

Tel : 025-521-3606